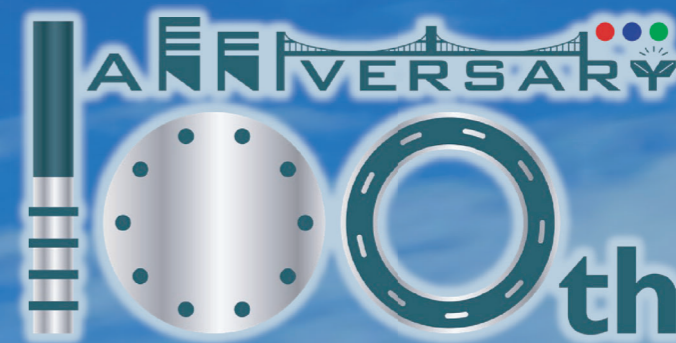


おかげさまで創業100周年

Taking on a new challenge

新たな挑戦へ



くい基礎で社会をささえる総合基礎会社 ジャパンパイル株式会社



総合基礎会社の誕生
今年で創業100周年を迎えるジャパンパイルは、すべての杭基礎に一貫対応する業界最大規模の「総合基礎会社」である。

節杭を開発して杭基礎業界に革命をもたらした、コンクリート杭だけでなく鋼管杭工法にも注力していたジオトップ。日本で初めて遠心力締固めによるコンクリート杭を開発し、様々なコンクリート製品を取り扱っていた大同コンクリート工業。コンクリート杭製造会社でありながら、高層建築物に多く使われる場所打ち杭を得意とするヨーン。2007年にこれら3社がジャパンパイル株式会社として統合された。さらに場所打ち杭の名門、基礎工業もグループに加わり、2013年からジャパンパイル基礎工業となった。

既製コンクリート杭、場所打ち杭、鋼管杭の三種類がある杭基礎。あらゆるタイプの杭基礎を手掛けることができるようになったことで、杭基礎の設計、最適な工法の選択、製造、現場施工における幅広い技術をコアとし、お客様にとって最適な提案ができる総合基礎会社が誕生した。

「世界に通じる基礎を造る」「進歩の原点は現場にあり」「仕事を天職として社会に尽くす」を企業理念とし、基礎建設の歴史を牽引する存在であるとの自負のもと、堅牢で安全・安心な建物の構築に貢献できる杭基礎の提供にたゆまぬ努力を続けてきた。

最も古いジオトップの創業から100年、そして偶然にも関東大震災の発生から100年を迎える今、改めてこの地震大国で建設基礎を、ひいてはこの国に住むすべての人々の安全・安心を築いていく責任を感じている。

数々の危機を乗り越えて未来へ
100年の歴史の中で数々の危機に直面したが、先人たちはその度に団結して乗り越えてきた。ジャパンパイル設立後も2008年のリーマンショックによる業績悪化により苦難を強いられた。だが、その危機を乗り越えることができたのは、同じく苦しい思いをしているはずのお客様の支えがあったからこそである。

世の中の環境は絶えず変化している。現も原材料価格の高騰やウクライナ情勢、世界的な金融引き締めなど、先行き不透明な状況が続いているが、支えていただいたお客様への感謝の気持ちを忘れず、先人から受け継がれた経験と自信を糧に、ジャパンパイルのさらなる成長と発展を信じて社員一丸となつてこれからも社会を支えていく。

目には見えないもので社会を支える
ジャパンパイルが扱っている杭基礎というものは建物完成すれば目には見えなくなる。しかし、絶対にはなならないもの。決して疎かにしてはならないもの。

マンションやオフィスビル、工場、学校、病院、テーマパーク、物流倉庫、橋、道路など様々なものを支えているが、目立たず「何事も起こらない」をつくっているのが基礎である。

ジャパンパイルの社員は、たとえ人の目につかないものであったとしてもそこに立つ建物を、そしてそこにいる人たちの安全を守ることを喜びとし、真面目に、誠実に仕事に取り組んでいる。



ベトナムにおける既製コンクリート杭の施工風景

アジアへ展開し、グローバルな企業へ
2010年にベトナムPhanvu(フアンブー)社と資本提携を開始。2015年にミャンマーVJJP社が新たに加わり、持株会社であるアジアパイルホールディングス(東証プライム市場上場)を設立。ジャパンパイルは中核事業会社としてアジアの発展に貢献している。

また、ベトナムからの研修生を多く受け入れ、技術の継承を行うことで、ベトナムでの杭品質の向上にも貢献している。

アジアパイルホールディングスグループ
ジャパンパイル株式会社

〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町36-2 (Daiwaバレーゲート)
TEL. 03-5843-4192 FAX. 03-5651-0192

支店/北海道・東北・東京・北関東・東関東・横浜・静岡・中部・関西・広島・岡山・福岡・南九州
営業所/北東北・南東北・新潟・北陸・京都・四国・山口・佐賀・熊本・沖縄
工場/福島・茨城・山梨・岐阜・滋賀・八洲・岡山・山口・福岡・鹿児島